

福井県臨海下水道事業会計

1 汚水処理実績

本事業は、テクノポート福井の環境保全と公共用水域の水質保全を目的として、テクノポート福井において操業企業等から排出される下水の処理を行っているものである。

処理企業数は91社であり、前年度に比べ2社増加している。年間汚水処理量は4,590,388 m³、下水道使用料は683,094,965円であり、前年度に比べ処理量は391,939 m³ (9.3%) 増加、下水道使用料は49,423,604円 (7.8%) 増加している。

〔汚水処理実績の推移〕

(単位：社、m³、円、%)

	平成25年度	対前年度比較	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
処理企業等	91	2	89	89	87	89
汚水処理量	4,590,388	9.3	4,198,449	4,373,877	4,363,813	4,074,853
対前年度比較	391,939		-△175,428	10,064	288,960	△105,153
下水道使用料	683,094,965	7.8	633,671,361	644,632,864	645,683,977	604,472,603
対前年度比較	49,423,604		△10,961,503	△1,051,113	41,211,374	△51,997,534

〔料金体系〕

汚水濃度	基本料金 円/m ³	汚水量加算料金 円/m ³	区分	汚水水質加算料金 円/m ³
180まで	118	236	1ランク超過	108
180超360まで	171	342	2ランク超過	216
360超540まで	225	450	3ランク超過	324
540超720まで	279	558	4ランク超過	432
720超840まで	315	630		

※汚水濃度 COD濃度(またはBOD濃度の何れか高い方)+SS濃度×0.4

COD濃度：認定汚水水質における化学的酸素要求量
BOD濃度：認定汚水水質における生物学的酸素要求量
SS濃度：浮遊物質

2 経営状況

総収益は686,536,853円、総費用は627,370,641円で、純利益は59,166,212円であり、前年度に比べ19,346,578円 (48.6%) 増加している。

(単位：円、%)

	平成25年度	平成24年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
総収益	686,536,853	645,806,892	40,729,961	6.3
営業収益	683,094,965	633,671,361	49,423,604	7.8
営業外収益	3,441,888	12,135,531	△8,693,643	△71.6
特別利益	0	0	0	—
総費用	627,370,641	605,987,258	21,383,383	3.5
営業費用	627,250,018	605,210,414	22,039,604	3.6
営業外費用	120,623	776,844	△656,221	△84.5
特別損失	0	0	0	—
純利益	59,166,212	39,819,634	19,346,578	48.6
当年度未処分利益剰余金	59,166,212	39,819,634	19,346,578	48.6

(この表は、損益計算書の収益および費用の総計で、消費税および地方消費税抜き。)

(1) 営業損益

営業収益は 683,094,965 円であり、前年度に比べ 49,423,604 円 (7.8%) 増加している。この要因は、企業数の増加および企業の生産量の回復に伴う汚水処理量の増加によるものである。

営業費用は 627,250,018 円であり、前年度に比べ 22,039,604 円 (3.6%) 増加している。この主な要因は、設備の更新、増設および修繕による処理場費および減価償却費の増加によるものである。

その結果、営業利益は 55,844,947 円であり、前年度に比べ 27,384,000 円 (96.2%) 増加している。

施設、設備については、景気や企業の動向を的確に把握し、将来の汚水処理量を適正に見込むことにより、効率的な利用および適切な維持管理による長寿命化を図りつつ、計画的、合理的な更新等に努められたい。

(単位：円、%)

	平成25年度	平成24年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
営業収益	683,094,965	633,671,361	49,423,604	7.8
下水道使用料	683,094,965	633,671,361	49,423,604	7.8
営業費用	627,250,018	605,210,414	22,039,604	3.6
管渠費	18,672,942	11,885,723	6,787,219	57.1
処理場費	428,974,336	389,761,958	39,212,378	10.1
総係費	18,701,229	15,720,266	2,980,963	19.0
減価償却費	157,816,111	118,946,384	38,869,727	32.7
資産減耗費	3,085,400	68,896,083	△ 65,810,683	△ 95.5
営業利益	55,844,947	28,460,947	27,384,000	96.2

(2) 営業外損益

営業外利益は 3,321,265 円であり、前年度に比べ 8,037,422 円 (△70.8%) 減少している。この主な要因は、設備更新設計、施設耐震化診断業務委託等に係る補助金が減少したことによるものである。

資金運用については、引き続き安全性、流動性を考慮しつつ、金融商品、運用期間、運用金額を適切に選択し、運用収益の向上に努められたい。

(単位：円、%)

	平成25年度	平成24年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
営業外収益	3,441,888	12,135,531	△ 8,693,643	△ 71.6
受取利息	3,373,288	4,465,107	△ 1,091,819	△ 24.5
補助金	0	7,589,000	△ 7,589,000	皆減
雑収益	68,600	81,424	△ 12,824	△ 15.7
営業外費用	120,623	776,844	△ 656,221	△ 84.5
支払利息	0	0	0	—
雑支出	120,623	776,844	△ 656,221	△ 84.5
営業外利益	3,321,265	11,358,687	△ 8,037,422	△ 70.8

(3) 経常損益および純損益

営業利益55,844,947円に営業外利益を加えた経常利益は59,166,212円であり、前年度に比べ19,346,578円(48.6%)増加している。

以上の結果、平成25年度の純利益については、特別損益がないことから、経常利益と同額の59,166,212円となっている。

[損益比較]

(単位：円、%)

	平成25年度	平成24年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
営業利益	55,844,947	28,460,947	27,384,000	96.2
営業収益	683,094,965	633,671,361	49,423,604	7.8
営業費用	627,250,018	605,210,414	22,039,604	3.6
営業外利益	3,321,265	11,358,687	△8,037,422	△70.8
営業外収益	3,441,888	12,135,531	△8,693,643	△71.6
営業外費用	120,623	776,844	△656,221	△84.5
経常利益	59,166,212	39,819,634	19,346,578	48.6
純利益	59,166,212	39,819,634	19,346,578	48.6

3 経営成績(事業の収益性)

本事業の収益性を示す比率は、次のとおりである。

総収支比率は、前年度を2.8ポイント上回り、109.4%となっている。

営業収支比率は、前年度を4.2ポイント上回り、108.9%となっている。

[収益性の状況]

(単位：%)

項目	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
総収支比率 (総収益/総費用)	109.4	106.6	116.3	134.1	138.1
営業収支比率 (営業収益/営業費用)	108.9	104.7	114.0	131.5	134.8

※ 総収支比率は、損益計算上、総体の収益で総体の費用を賄うことができるかどうかを示し、この比率が高いほど純利益率が高いことを表す。

数値が100%未満の場合は、損失が生じていることを意味する。

※ 営業収支比率は、企業本来の活動に注目し、その利益率を示すものであり、営業外収支、特別損益といった企業本来の活動とは直接結びつかない収支を除外している。

数値が100%未満の場合は、企業本来の活動に損失を生じていることを意味し、健全経営とはいえない。

4 財政状態

(1) 資産の状況

資産合計は11,562,049,708円であり、前年度に比べ305,083,661円(2.7%)増加している。

未収金の主なものは、納期未到来の3月分の下水道使用料60,716,905円および臨海工業用地等造成事業会計からの排水設備増設工事他負担金532,015,600円である。

なお、ごく一部の企業においては、納期内に納入されていない未収金があるので、着実な回収に努められたい。

(単位：円、%)

	平成25年度末 現在高	平成24年度末 現在高	対前年度比較	
			増減額	増減率
固定資産	9,031,331,971	8,493,553,057	537,778,914	6.3
有形固定資産	9,030,986,302	8,493,207,388	537,778,914	6.3
無形固定資産	345,669	345,669	0	0.0
流動資産	2,530,717,737	2,763,412,990	△232,695,253	△8.4
現金預金	1,935,483,505	2,611,520,486	△676,036,981	△25.9
未収金	595,233,817	151,892,087	443,341,730	著増
立替金	415	417	△2	△0.5
資産合計	11,562,049,708	11,256,966,047	305,083,661	2.7

(2) 負債の状況

負債合計は596,485,843円で、前年度に比べ341,192,641円(△36.4%)減少している。

(単位：円、%)

	平成25年度末 現在高	平成24年度末 現在高	対前年度比較	
			増減額	増減率
固定負債	96,517,992	45,787,958	50,730,034	著増
引当金	96,517,992	45,787,958	50,730,034	著増
流動負債	499,967,851	891,890,526	△391,922,675	△43.9
未払金	499,807,601	891,723,746	△391,916,145	△44.0
預り金	160,250	166,780	△6,530	△3.9
負債合計	596,485,843	937,678,484	△341,192,641	△36.4

(3) 資本の状況

資本合計は10,965,563,865円で、前年度に比べ646,276,302円(6.3%)増加している。

(単位：円、%)

	平成25年度末 現在高	平成24年度末 現在高	対前年度比較	
			増減額	増減率
資本金	336,251,938	296,432,304	39,819,634	13.4
自己資本金	336,251,938	296,432,304	39,819,634	13.4
剰余金	10,629,311,927	10,022,855,259	606,456,668	6.1
資本剰余金	10,565,535,899	9,978,425,809	587,110,090	5.9
利益剰余金	63,776,028	44,429,450	19,346,578	43.5
資本合計	10,965,563,865	10,319,287,563	646,276,302	6.3

5 予算および決算の状況

収益的収支および資本的収支の予算および決算の状況(消費税および地方消費税を含む。)は、次のとおりである。

[収益的収支の予算および決算]

(単位：円)

区分	予算額 A	決算額 B	翌年度繰越額 C	増減額 (B+C) - A
収入	705,127,000	720,692,131	—	15,565,131
支出	696,694,000	655,947,403	0	△ 40,746,597

[資本的収支の予算および決算]

(単位：円)

区分	予算額 A	決算額 B	翌年度繰越額 C	増減額 (B+C) - A
収入	733,166,000	684,015,600	—	△ 49,150,400
支出	852,320,000	801,164,451	0	△ 51,155,549
収支差	—	△ 117,148,851	—	—

資本的収入額が資本的支出額に対して不足している117,148,851円については、建設改良積立金等で補てんされている。

6 資金の状況

(1) 資金収支

資金の収支は、受入資金 3,577,886,876 円に対し支払資金 1,642,403,371 円で、差引き 1,935,483,505 円が現金預金として翌年度へ繰越されている。

(単位：円、%)

区分	平成25年度	平成24年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
受入資金	3,577,886,876	4,579,045,175	△ 1,001,158,299	△ 21.9
支払資金	1,642,403,371	1,967,524,689	△ 325,121,318	△ 16.5
差引	1,935,483,505	2,611,520,486	△ 676,036,981	△ 25.9

(注) この表の数値は、当該年度中の資金収支の状況であり、受入資金には前年度繰越金を含む。

(2) 年度末資金の推移

(単位：千円)

項目 \ 年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
① 現金預金残高	1,935,483	2,611,520	1,685,735	2,433,441	2,251,148
② 未収金	595,233	151,892	270,037	58,404	59,615
③ 短期貸付金	0	0	830,000	0	0
④ 立替金	1	1	1	1	1
⑤ 未払金	499,807	891,723	323,388	83,387	54,363
⑥ 預り金	160	166	144	3,825	1,075
年度末資金①+②+③+④-⑤-⑥	2,030,750	1,871,524	2,462,241	2,404,634	2,255,326

(注) この表の各区分の数値は、3月31日現在の資金の状況である。

7 審査意見

本事業の決算書類は、関係諸帳簿および証拠書類の計数と符合して正確であり、財務に関する書類についても関係法令に準拠し、概ね適正に執行されているものと認める。

平成25年度は、企業数の増加および企業の生産量の回復により汚水処理量および下水道使用料が前年度に比べ増加した。

今後は、施設、設備の更新、増設および修繕等の費用の発生が見込まれるので、景気や企業の動向を的確に把握し、将来の汚水処理量を適正に見込みながら、施設、設備の効率的な利用および適切な維持管理による長寿命化を図りつつ、計画的な整備や経費節減等、経営の健全化の維持に引き続き努められたい。

また、ごく一部の企業において発生している納期内に納入されていない未収金については、着実な回収に努められたい。